

2025年度

臨床研修プログラム

北里大学病院

はじめに

北里大学病院は、職員全員が医療の質の向上と安全な医療を目指して、臨床教育に全力で取り組んでいます。私たちは、開設以来「患者中心の医療」をテーマに掲げてきました。今では、その精神が職員一人ひとりに根づいています。私たちは、さらに「共に創り出す医療」を合言葉に、患者と共に、仲間と共に、社会と共に、求められる医療を考え、あるべき医療を創っていきます。

高度で先進的な医療を実践しながら、地域医療を支える市民病院的役割も担っています。許可病床1,185床を有し、内科系・外科系を問わず多くの入院患者、外来患者の診療を行い、新生児から超高齢者まで疾患構造も多岐にわたります。2014年5月に新大学病院が開院し、重点医療分野として、救命救急・災害医療センター、集学的がん診療センター、周産母子成育医療センターを整備しました。また、2020年4月に北里大学東病院の機能を大学病院へ移転し、精神科医療、リハビリテーション、終末期ケア、在宅医療など新たな全人的医療を展開できる環境が一施設で整いました。併せて消化器センター、心臓血管センター、呼吸器センター、脳血管センターなども再整備され、集学的に安全かつ高度なチーム医療を効率よく行える環境が整っています。手術件数や各分野での治療成績など診療実績は国内でトップレベルを維持しています。

厚生労働省の医師臨床研修ガイドラインに準じて研修プログラムを充実させ、臨床研修医がきめの細かい指導を受けられる体制と、医師としての資質向上のための全病院指導体制を築いています。臨床研修プログラムおよび就業規則に準じた勤務体制は、臨床研修医が基本的な医療知識や技術を無理なく、無駄なく修得できるように配慮されています。臨床研修中の住環境を充実させるために2013年には病院に隣接した居住性の良い宿舎（コンフォート北里）を確保しました。また、2017年に自己研鑽のためのスペースや多数のコンテンツを持つ図書館、スキルスラボを含む臨床教育研究棟（IPE棟）を開設し臨床研修医・病棟医専用居室、仮眠室、シャワー室も設置され、研修環境はさらに向上しました。

これらの研修のための環境作りに加えて、北里大学病院で働く先輩医師たちは、後輩を育てることが自分たちの最も重要な仕事のひとつだと考え、情熱と愛情をもって、優しく、ときには厳しく臨床研修医に接しています。

臨床研修センターの基本理念は、日本、世界に寄与する良医の育成です。この理念を果たすべく、目標を立て実践し評価し、さらなる成長につなげます。

1 人として、人を理解する医師

- 1) 一社会人としての振舞い
 - 2) 人間性を尊重できる
 - 3) 高いコミュニケーション能力を持つ
 - 4) 社会、公衆衛生を理解し、それに貢献できる
 - 5) 正しい道德感を持つ
- 2 プロフェッショナルな医師
- 1) 高い診断、治療技術を持つ
 - 2) 生涯自らを高めることができる
 - 3) 科学的探究心を持つ
 - 4) 医療チームのリーダーとしての自覚を持つ
 - 5) 高い倫理感を有する

基幹型相当北里大学病院臨床研修プログラム

本プログラムは北里大学病院を基幹型相当大学病院として実施する卒後臨床研修教育の手引として作成した「北里大学病院医師卒後臨床研修カリキュラム」である。

各診療科の1年目・2年目の必修研修、選択研修カリキュラムの特徴、内容を加え詳細に明記した。

1. 病院の概要

はじめに、基幹型相当大学病院である北里大学病院の概要について説明する。

北里大学病院は1971年7月に開院した後、地域的立地条件からくる社会的ニーズ等により入院・外来患者数が大幅に増加した。地域住民から要求される医療ニーズが増加したことに加え、地域医療の核としてより高度な医療を効率的、集約的に提供することが必要となり、1986年4月、北里大学東病院を開院した。

両病院はお互いの機能を補填しながら連携し、診療・教育・研究を実施してきたが、2020年4月に東病院の機能を大学病院に移転・統合することとなった。現在、相模原市の人口は70万人を超え、北里大学病院の医療圏には周辺の市町村を含めた150万人の人口が含まれている。北里大学病院は高度先進医療を実施する特定機能病院であり、同時に相模原市は市民病院を有しないことから、市民病院的な特徴も具備している。病診・病病連携も進み、日々多くの急性疾患患者が受診、紹介されており、紹介率は85%を超えている。

北里大学病院の理念は、「患者中心の医療」「共に創りだす医療」である。許可病床数1,135床を有する総合的病院であり、1993年12月に特定機能病院として承認された。

2014年5月に開院した新病院では、地域における救命救急センター、災害拠点病院、総合周産期母子医療センター、地域がん診療連携拠点病院としての機能をこれまで以上に発揮する為、救命救急・災害医療センター、周産母子成育医療センター、集学的がん診療センターを設置し、地域の三次医療を担う超急性期病院としての体制を整えた。最新の医療機器を多数導入し、最先端の医療を提供するべく、チーム医療を中心とした医療提供体制を整備し、さらに大学病院として新しい時代を担う人材の育成を進めている。

《病床数》 許可病床数 1,135床

《標榜科》 内科、内分泌・代謝内科、腎臓内科、血液内科、リウマチ科、感染症内科、アレルギー科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、脳神経内科、精神神経科、皮膚科、放射線診断科、放射線治療科、外科、消化器外科、乳腺・内分泌外科、小児外科、呼吸器外科、心臓血管外科、心臓外科、血管外科、小児心臓血管外科、脳神経外科、整

形外科、形成外科、美容外科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、頭頸部外科、眼科、小児科、産科、婦人科、麻酔科、救急科、臨床検査科、病理診断科、リハビリテーション科、歯科の42科

2. 北里大学病院臨床研修プログラムの基本的研修理念と特徴

医師としての人格を涵養し、将来の専門性にかかわらず、医学・医療の社会的ニーズを認識しつつ、日常診療で頻繁に遭遇する病気や病態に対応できるよう、プライマリ・ケアの基本的な診療能力（態度、技能、知識）を身につけることを目的とする。

北里大学病院臨床研修プログラムは以下の特徴を有している。

(1) 北里大学病院、北里大学北里研究所病院、北里大学メディカルセンターの3病院による臨床研修が可能である。

(2) 「たすき掛け方式コース」を設定しており、相模原病院、平塚共済病院、大和市立病院、沼津市立病院、相模原協同病院と連携し、大学病院と市中病院の研修を同時に行う事ができる。

北里大学病院は特定機能病院であると同時に市民病院的な役割を果たしており、急性期疾患を含めた患者数、手術件数、分娩件数なども多く、臨床研修に欠かせない様々な症例を経験することが可能である。

(3) 北里大学病院は臨床研修医、病棟医（専門医研修体制で最終年度はチーフレジデント）を含め完全雇用の形態をとっている。その結果、2023年8月現在で指導医養成講習会受講者数206名と、病床数に比べて指導医の数が多い。

(4) 従前から北里大学病院の卒後臨床研修体制は整備されており、臨床研修医、病棟医は教授、准教授、講師等の上位者より直接指導を受けることができ、臨床研修体制が整っている。

(5) 2年間の臨床研修のあと、専攻医研修の体制も整備されており、専門医取得や自身のキャリア形成に明るい。

(6) 内科系、外科系問わず、高度な先進医療を行っている。専門医取得後も、さらなる高い技術、知識を身につけることができる。

3. 臨床研修病院群

北里大学病院を基幹型相当大学病院として、北里研究所病院、北里大学メディカルセンターを協力型相当大学病院、この他に協力型臨床研修病院や、研修協力施設と共同して臨床研修を行なう臨床研修病院群として、次の3つのプログラムを設けた。

(1) 基幹型相当北里大学病院臨床研修プログラム

(2) 基幹型相当北里大学病院臨床研修プログラム（周産・成育コース）

(3) 基幹型相当北里大学病院臨床研修プログラム（基礎研究医コース）

4. 臨床研修方式

北里大学病院の臨床研修プログラムは、北里大学病院を基幹型相当大学病院とし、北里大学北里研究所病院、北里大学メディカルセンターを協力型相当大学病院として構成している。さらに、この他に協力型臨床研修病院や複数の施設を臨床研修協力施設に加えて、充実した臨床研修が出来るように配慮されている。

北里大学病院には、基本プログラム、周産・成育プログラムと基礎研究医プログラムの3つの研修プログラムがある。基本プログラムには、2つのコースを設定している。いずれのプログラムも、研修開始前に予め選択した2年次の研修診療科を、1年次の12月の時点で組み替えてプログラムのリセットを可能にしている。これに伴い、研修開始後のライフプランを反映した研修プログラムの変更が可能となり、柔軟なシステムとなっている。

I. 基幹型相当北里大学病院臨床研修プログラム（基本プログラム）

厚生労働省が定める2年間で行う必修科の研修に加え、自由度が高い選択性のコースと6ヵ月から1年間程度を期間とする他の協力型相当大学病院、協力型臨床研修病院との「たすき掛け方式」による研修プログラムを想定した2つのコースを設定している。選択制のコースでは、1年次に地域医療研修、外来研修以外の必修科目の他、希望者は選択科の研修を行う。なお、1年次、2年次共に研修ローテーションの順序は、研修医毎に個別に対応する。「たすき掛け方式コース」では、1年次の4月から1年間を他施設で研修するコースと、1年次の9月までは北里大学病院で必修科目の研修を行い、10月より6ヵ月から1年の期間を他施設で研修するコースがある。たすき掛けの研修施設、研修期間ならびに研修科は臨床研修医ごとに個別に対応する。

【選択自由度重視コース】

研修内容の選択性の自由度が非常に高く、6ヵ月の選択科研修並びに救急部門を自らの希望にあわせ、自由にカスタマイズできる点が特徴である。

1. 臨床研修1年次

○ 内科（22週または26週）、救急部門（9週または13週）、外科系（9週）、小児科（4週）、産婦人科（4週）、精神神経科（4週）の必修科の研修を行う。

○ 必修科における外科系9週は、次の①～③より1科を選択、又は①～③より1

科を5週と④⑤より1科を4週選択し外科の基本手技を習得する。

①外科 ②呼吸器外科 ③心臓血管外科 ④脳神経外科 ⑤泌尿器科

○選択科研修を4週（希望者のみ）

2. 臨床研修2年次

○地域研修（5週）、外来研修（4週）、外科系研修（5週）を研修する。

○臨床研修医の希望に基づく選択科（20週または24週）を研修する。

○外科系で行う5週の研修は、次の13科より1科を選択する。

①外科、②呼吸器外科、③心臓血管外科、④脳神経外科、⑤整形外科、⑥形成外科・美容外科、⑦泌尿器科、⑧耳鼻咽喉科・頭頸部外科、⑨眼科、⑩産科、⑪婦人科、⑫麻酔科、⑬救急科

○地域医療の選択は、必修の5週を含めて最大で26週までとする。なお、同一施設での研修は9週を上限とする。

【たすき掛け方式コース】

北里大学病院での研修と協力型相当大学病院や協力型臨床研修病院での研修を組み合わせて研修を受けることができるコースである。1年次の4月から1年間を他施設で研修するコースと、1年次の9月までは北里大学病院で必修科目の研修を行い、10月より6ヵ月から1年の期間を他施設で研修するコースがある。研修科は臨床研修医ごとに個別に対応する。

1. 1ヵ月目～6ヵ月目（研修1年次）

○4月～9月の間に、必修科である内科（26週）、救急部門（13週）外科系（9週）、小児科（4週）、産婦人科（4週）、精神神経科（4週）のうちその後の他施設での研修内容に合わせ選択した必修科の研修を行う。

○他施設での研修に必修科を含め研修を行うことができる。

○必修科における外科系9週は、次の①～③より1科を選択、又は①～③より1科を5週と④⑤より1科を4週選択し外科の基本手技を習得する。

①外科 ②呼吸器外科 ③心臓血管外科 ④脳神経外科 ⑤泌尿器科

2. 7ヵ月目～12ヵ月目または18ヵ月目（臨床研修1年次～臨床研修2年次）

○10月より、協力型相当大学病院や協力型臨床研修病院での研修を行う。

○他施設での研修期間の間に、当初の6ヵ月間で研修できなかった必修科を含め、臨床研修医の希望に準じて選択した診療科での研修を受ける。

○地域研修（5週）、外来研修（4週）は、研修を受ける施設にて可能である場合は、その施設にて実施する。

3. 13 カ月目または19 ヶ月目～ 24 ヶ月目（臨床研修2 年次）

○ 残りの必修科を含め、臨床研修医の希望に基づき選択科を研修する。

※ 選択性で行う研修は、次の34 科より選択する。

消化器内科／内分泌代謝内科／循環器内科／脳神経内科／膠原病・感染内科
／呼吸器内科／腎臓内科／血液内科／精神神経科／皮膚科／放射線治療科／放射線診
断科／外科／呼吸器外科／心臓血管外科／脳神経外科／整形外科／形成外科・美容外
科／耳鼻咽喉科・頭頸部外科／眼科／泌尿器科／産科／婦人科／小児科／麻酔科／臨
床検査部／病院病理部／救急科／総合診療部／総合診療内科／リハビリテーション科
／感染管理室／地域医療／保健・医療行政

II. 基幹型相当北里大学病院臨床研修プログラム（周産・成育プログラム）

将来、産婦人科医、小児科医になることを希望する臨床研修医を対象とする。よ
り専門指向性の高い研修を可能とする研修プログラムである。1 年次、2 年次共に研
修ローテーションの順序は、個別に対応するので臨床研修医毎に異なる。

1. 臨床研修1 年次

○ 内科（22 週または26 週）、救急部門（9 週または13 週）、産婦人科（13
週）または小児科（13 週）、13 週を選択しない産婦人科または小児科（4 週）、外
科系（9 週）、精神神経科（4 週）の研修を行う。

○ 必修科における外科系9 週は、次の①～③より1 科を選択、又は①～③より1
科を5 週と④⑤より1 科を4 週選択し外科の基本手技を習得する。

①外科 ②呼吸器外科 ③心臓血管外科 ④脳神経外科 ⑤泌尿器科

○選択科研修を4 週（希望者のみ）

2. 臨床研修2 年次

○ 地域医療（5 週）、外来研修（4 週）当院の周産母子成育医療センターに包括
される診療科を中心に臨床研修医の希望に準じて選択した診療科での研修を行う。

○選択希望診療科（16 週または20 週）は、次の34 科より選択する。

消化器内科／内分泌代謝内科／循環器内科／脳神経内科／膠原病・感染内科／
呼吸器内科／腎臓内科／血液内科／精神神経科／皮膚科／放射線治療科／放射線診
断科／外科／呼吸器外科／心臓血管外科／脳神経外科／整形外科／形成外科・美容外科
／耳鼻咽喉科・頭頸部外科／眼科／泌尿器科／産科／婦人科／小児科／麻酔科／臨
床検査部／病院病理部／救急科／総合診療部／総合診療内科／リハビリテーション科
／感染管理室／地域医療／保健・医療行政

Ⅲ. 基幹型相当北里大学病院臨床研修プログラム（基礎研究医プログラム）

優れた基礎医学研究医を養成するため、基礎医学に意欲があり、基礎医学系の大学院に入学する医師を対象に、臨床研修と基礎医学を両立するための基礎医育成・研修コースである。

北里大学医学部の生化学、生理学、法医学、免疫学、薬理学、解剖学の中から研修する教室を選択することが出来る。

1. 1カ月目～15ヶ月目（研修1年次～研修2年次）

○内科（28週）、救急部門（14週）、外科系（9週）、小児科（5週）、産婦人科（5週）、精神神経科（5週）の必修科の研修を行う。

○必修科における外科系9週は次の①～③より1科を選択、又は①～③より1科を5週と④⑤より1科を4週選択し、外科の基本手技を習得する。

①外科 ②呼吸器外科 ③心臓血管外科 ④脳神経外科、⑤泌尿器科

※プログラム開始時に所属する基礎医学教室を決定し、オリエンテーションを行う。

2. 16カ月目～24ヶ月目（研修2年次）

○地域研修（5週）、外来研修（5週）、外科系研修（5週）、基礎医学教室（23週）を研修する。

○外科系で行う5週の研修は、次の13科より1科を選択する。

①外科、②呼吸器外科、③心臓血管外科、④脳神経外科、⑤整形外科、⑥形成外科・美容外科、⑦泌尿器科、⑧耳鼻咽喉科・頭頸部外科、⑨眼科、⑩産科、⑪婦人科、⑫麻酔科、⑬救急科

※基礎医学研修を開始する前に臨床研修の到達目標の達成度の評価を行う。

5. 臨床研修プログラムに関する基本事項

(1) 研修コースの決定

研修希望者は事前に臨床研修センターより示された期日内に選択するコース、研修診療科を決定し、臨床研修センターに申し込む。

(2) 研修コースの変更

2年管理一貫コースを原則とするが、選択希望科の変更を希望する場合は所定の手続きを必要とする。

(3) ローテイトの順番について

各コースにおける診療科のローテイトの順番は臨床研修医の希望をもとに、診療科と臨床研修センターの間で調整して決定する。

(4) 必修科のなかで、達成していない到達目標がある場合は、選択科で達成できるよ

うに対応する。

6. 研修受入れ定員

- | | |
|---------------------------------|--------|
| (1) 基幹型相当北里大学病院臨床研修プログラム（基本） | 定員 39名 |
| （うち、たすき掛け方式コース 5名） | |
| (2) 基幹型相当北里大学病院臨床研修プログラム（周産・成育） | 定員 4名 |
| (3) 基幹型相当北里大学病院臨床研修プログラム（基礎研究医） | 定員 1名 |

7. 臨床研修医の募集及び採用の方法

(1) 募集方法

北里大学病院臨床研修センターのホームページに募集要項を掲載する。また、個別の問い合わせにも対応する。

(2) 採用方法

面接および各種試験（CBT、卒業試験・模擬試験等）による総合評価でマッチング順位を決定する。なお、採用は研修医マッチング協議会の結果に従う。

8. 臨床研修医の基本的姿勢・態度

研修理念に基づいて、将来の専門性にかかわらず、日頃遭遇する疾患に適切に対応できるプライマリ・ケアの基本的な診療能力を指導医のもとで身につけることにある。

以下の基本的な研修医の姿勢・態度を修得するために、個々の診療科の特色に応じて研修を行う。何れの研修内容も指導医の指導のもとに行い、研修内容について記録し、評価を受ける。

- (1) 病歴を作成し、担当する患者の状態、診療内容を記録する。
- (2) 診断・治療に必要な検査計画、治療方針を作成する。
- (3) 診療に必要な検査手技、治療手技を実施、経験する。
- (4) 外科系診療科の研修では術前、術後の管理を含めた手術の機会が与えられる。
- (5) 受け持ち患者が退院したときは退院時要約を作成する。退院時要約のコピーは経験症例として各自が保管することが出来る。
- (6) 担当患者が死亡した場合は剖検の依頼の仕方を経験すると共に、病理剖検に立ち会う。病理医へ患者臨床経過書を作成し提出する。
- (7) 各診療科が行う抄読会、臨床講義、セミナー、病理学単位が主催するCPC には出席しなければならない。担当症例が CPC の対象症例の場合、臨床経過等の資料を作

成し報告する。

(8) 身体の不調、個人的事情で研修、当直を休む場合は必ず報告しなければならない。

9. プログラムの管理運営体制

基幹型相当北里大学病院臨床研修プログラムの総括的な管理・運営を行うため、基幹型相当大学病院、協力型相当大学病院、協力型臨床研修病院、研修協力施設で北里大学病院研修管理委員会（以下研修管理委員会）を設置し、研修プログラムの改定・改変を行う。

研修管理委員会は定期的開催され、問題提起並びに解決を図る。また、緊急に解決を要する場合については適宜関係者を招集することがある。

(1) 臨床研修病院群

1) 【基幹型相当大学病院】

学校法人北里研究所 北里大学病院

2) 【協力型相当大学病院】

学校法人北里研究所 北里大学北里研究所病院（内科、外科、麻酔科、選択科）

（研修実施責任者 中山 莊平）

学校法人北里研究所 北里大学メディカルセンター（内科、外科、救急部門、小児科）

（研修実施責任者 佐藤 之俊）

3) 【協力型臨床研修病院】

国家公務員共済組合連合会 平塚共済病院（内科、救急部門、外科）

（研修実施責任者 稲瀬 直彦）

独立行政法人国立病院機構 相模原病院（内科、救急部門、外科、産婦人科、小児科）

（研修実施責任者 井上 準人）

沼津市立病院（内科、救急部門、外科、小児科、産婦人科）

（研修実施責任者 伊藤 浩嗣）

大和市立病院（内科、救急部門、外科、小児科、産婦人科、精神科）

（研修実施責任者 石川 雅彦）

神奈川県厚生農業協同組合連合会 相模原協同病院（小児科、産婦人科）

（研修実施責任者 井関 治和）

社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス 海老名総合病院（小児科）

（研修実施責任者 山田 正俊）

社会医療法人 製鉄記念室蘭病院（選択科）

（研修実施責任者 前田 征洋）

独立行政法人地域医療機能推進機構 相模野病院（産婦人科）

（研修実施責任者 望月 純子）

新潟県厚生農業協同組合連合会 佐渡総合病院（地域医療）

（研修実施責任者 佐藤 賢治）

医療法人興生会 相模台病院（小児科）

（研修実施責任者 白井 宏幸）

4) 【研修協力施設】

医療法人 石橋医院（地域医療）

医療法人財団愛慈会 相和病院（総合診療）

医療法人財団青溪会 駒木野病院（精神神経科）

医療法人社団神奈川巨樹の会 みどり野リハビリテーション病院（リハビリテーション科）

医療法人社団元気会 横浜病院（選択科）

医療法人社団光生会 さがみ循環器クリニック（地域医療）

医療法人社団三育会 新宿ヒロクリニック（地域医療）

医療法人社団さんりつ会 そうわクリニック（総合診療）

医療法人社団守成会 広瀬病院（総合診療）

医療法人社団秦和会 秦野病院（精神神経科）

医療法人社団正史会 大和病院（精神神経科）

医療法人社団聡生会 阪クリニック（地域医療）

医療法人社団朱鷺会 大内病院（地域医療）

医療法人社団博奉会 相模ヶ丘病院（精神神経科）

医療法人社団福寿会 愛川北部病院（地域医療）

医療法人翠典会 なごみ皮ふ科（地域医療）

医療法人鳥伝白川会 ドクターゴン診療所（地域医療）

医療法人鳥伝白川会 ドクターゴン鎌倉診療所（地域医療）

医療法人 的場内科クリニック（地域医療）

沖縄県立八重山病院（地域医療）

沖縄県立八重山病院附属西表西部診療所（地域医療）

沖縄県立八重山病院附属大原診療所（地域医療）

沖縄県立八重山病院附属小浜診療所（地域医療）

沖縄県立八重山病院附属波照間診療所（地域医療）
神奈川県立赤十字血液センター（保健・医療行政）
小値賀町国民健康保険診療所（地域医療）
国民健康保険 平戸市民病院（地域医療）
相模原市保健所（保健・医療行政）
相模原市立青野原診療所（地域医療）
相模原市立千木良診療所（地域医療）
相模原市立藤野診療所（地域医療）
相模原赤十字病院（地域医療）
社会福祉法人慈恵療育会 相模原療育園（地域医療）
社会福祉法人桜ヶ丘社会事業協会 桜ヶ丘記念病院（精神神経科）
地域・往診クリニックさがみはら（在宅医療）
特定医療法人沖縄徳洲会 与論徳洲会病院（地域医療）
長崎県病院企業団 長崎県壱岐病院（地域医療）
長崎県病院企業団 長崎県上対馬病院（地域医療）
長崎県病院企業団 長崎県五島中央病院附属診療所奈留医療センター（地域医療）
長崎県病院企業団 長崎県対馬病院（地域医療）
日野原記念 ピースハウス病院（地域医療）
平戸市立生月病院（地域医療）
富士通株式会社 健康推進本部健康事業推進統括部（地域医療）
みその生活支援クリニック（在宅医療）（地域医療）
南魚沼市民病院（地域医療）

(2) 研修管理委員会 構成員

1) 管理者

- ①病院長 高相 晶士
- ②教育を担当する副院長（委員長）
- ③各診療科長

2) 事務部門の責任者又はこれに準ずる者

大学病院事務部長・医学部事務長__

3) プログラム責任者

- ①基本プログラム 佐藤 武郎
- ②周産・成育プログラム 佐藤 武郎

4) 研修実施責任者

- ①臨床研修センター長（副委員長）
- ②協力型大学病院の研修実施責任者
- ③協力型臨床研修病院の研修実施責任者
- ④研修協力施設の研修実施責任者

5) 当該研修病院及び臨床研修施設以外に所属する医師、有識者

- ①神奈川県医師会代表者
- ②医学部教育委員会から推薦された者（医学部教育委員会委員）
- ③医学部長から推薦された者（医学部医学教育部門）

10. 経験すべき症候と疾病・病態の研修について

経験すべき症候（29項目）

ショック	視力障害	関節痛
体重減少・るい瘦	胸痛	運動麻痺・筋力低下
発疹	心停止	排尿障害（尿失禁・排尿困難）
黄疸	呼吸困難	終末期の症候
発熱	吐血・喀血	熱傷・外傷救急部門
もの忘れ	下血・血便	興奮・せん妄精神神経科
頭痛	嘔気・嘔吐	抑うつ
めまい	腹痛	成長・発達の障害
意識障害・失神	便通異常（下痢・便秘）	妊娠・出産
けいれん発作	腰・背部痛	

経験すべき疾病・病態（26項目）

脳血管障害	急性胃腸炎	脂質異常症
急性冠症候群	胃癌	高エネルギー外傷・骨折救急科
心不全	消化性潰瘍	依存症（ニコチン・アルコール・薬物・病的賭博）
大動脈瘤	肝炎・肝硬変	認知症
高血圧	胆石症	うつ病
肺癌	大腸癌	統合失調症
肺炎	腎盂腎炎	

急性上気道炎	尿路結石	
気管支喘息	腎不全	
慢性閉塞性肺疾患（COPD）	糖尿病	

11. 臨床研修教育に関する行事

入職時合同オリエンテーションにて院内諸規程、医療関連法規等の解説や、院内施設見学を行う。その後臨床研修医オリエンテーションではME 機器の使用説明、電子カルテの操作方法、インシデントレポートシステムの操作、感染防止対策演習など臨床研修医として勤務に必要な知識の習得を図る。同時に「保険医療講習会」を受講し、保険医としての知識を習得する。年間を通した講習会としては、年6回の臨床研修医セミナー、医療法で定められている研修会を年2回以上受講することになる。

また、2年次に緩和ケア研修会を受講する。

12. 臨床研修医の評価及び修了認定

臨床研修の到達目標を達成するための方略として規定されている臨床研修を行う分野・診療科、経験すべき症候、経験すべき疾病・病態について評価する。臨床研修医による自己評価を参考にしつつ研修状況を把握し、到達目標達成の有無を判断する。さらに、各科独自に行われる評価を加え、プログラム責任者に報告する。研修管理委員会では、前述の報告を基に最終評価を行う。

13. 臨床研修プログラム修了の認定

前記の研修管理委員会の最終評価を基に病院の管理者である大学病院長が臨床研修修了者に対し、臨床研修修了証を発行する。

14. プログラム修了後のコース

プログラム修了後のコースとしては、北里大学病院後期研修（病棟医）プログラムに進むコースと北里大学医療系大学院へ進学するコースがある。その他、他施設への就職を希望するものに対しては推薦状を発行する。

15. 臨床研修を修了した旨の医籍登録

臨床研修修了者は、厚生労働省に対し、臨床研修修了登録証交付申請書に、臨床研修修了証の写しと所定の手数料を添えて、医籍に臨床研修を修了した旨の登録手続き

をすること。本手続きを怠ると、将来の開業、就職等の際に障害となることがある。

16. 基礎研究医プログラムの修了

(1) 臨床研修後、4年以内を目処に、作成した基礎医学の論文を研修管理委員会に提出する。

(2) 臨床研修修了後に、プログラム修了者の到達目標の達成度と臨床研修後の進路を管轄する地方厚生局に報告する。

17. 基礎研究医プログラムのキャリアパス

北里大学における基礎研究医のキャリアパス

1. 医学部卒業生のキャリアパスの例

	卒後2年間	卒後3年～6年目	卒後7年目以降
臨床研修	→		
医学部助教（病棟医）専門医取得		→	
医学部助教（研究員）			→
大学院医療研究科博士課程			→
留学			→

2. 基礎研究医：学位取得優先コース

	卒後1年目	卒後2年目	卒後3年目	卒後4年目	卒後5年目	卒後6年目
大学病院基礎研究医（臨床研修）	→	→				
大学院医療研究科博士課程	→	→	→	→		
（研修医2年次から大学院開始）		→	→	→	→	
（臨床研修終了から大学院開始）			→	→	→	→
医学部特任助教（基礎研究医）			→	→	→	→

※論文を研修管理委員会に提出した7年目以降は、本人の希望を尊重した上で基礎医学系助教への任用又は留学を選択可能

3. 基礎研究医：学位・専門医取得コース

	卒後1年目	卒後2年目	卒後3年目	卒後4年目	卒後5年目	卒後6年目
大学病院基礎研究医（臨床研修）	→	→				
大学院医療研究科博士課程	→	→	→	→		
（研修医2年次から大学院開始）		→	→	→	→	
（臨床研修終了から大学院開始）			→	→	→	→
医学部助教（病棟医）専門医取得			→	→	→	→

※論文を研修管理委員会に提出した7年目以降は、本人の希望を尊重した上で臨床医学系助教（研究員）又は基礎医学系助教への任用、留学を選択可能

18. 臨床研修医の待遇（参考：2023 年度実績）

(1) 職 位：臨床研修医（専任職員）※常勤

(2) 給 与：（2023 年度金額）

- ・1 年次 基本給220,100 円＋地域手当35,200 円

- ・2 年次 基本給228,900 円＋地域手当36,600 円

研修協力病院（施設）で研修する場合も北里大学病院より支給する

- ・各種手当

住宅手当、宿直手当、通勤手当、扶養手当、時間外勤務手当 他各種手当別

途支給する

(3) 賞 与：（年度末1 回支給） ・1 年次 30,000 円 ・2 年次 50,000 円

(4) 福利厚生：

- ・ 独身者用宿舎あり 入居費月額52,000 円（光熱費自己負担）／住宅手当

27,000 円の支給あり

- ・ 保育園完備（24 時間保育可・定員55 名）

(5) 勤務時間：

- ・ 原則として午前8 時30 分～午後5 時（休憩60 分）ただし、時間外勤務および当直あり。

なお、救命救急・災害医療センター研修および各必修、選択診療科の研修では指導医とともに当直を行う。

(6) 休 日：日曜日、祝祭日、年末年始（12/29 ～ 1/3）

特別休暇（夏期特別休暇、婚姻休暇、配偶者出産休暇、誕生日休暇

等）

(7) 妊娠・出産・育児に関する施設及び取り組み

- ・ 保育所

病院敷地内に北里保育園があり夜間の保育も可能。また、院内には病児保育室がある。

- ・ 休憩スペース

臨床研修医室がある I P E 棟には仮眠室があり、体調不良時の休憩や授乳にも使用可能。

- ・ 休暇／休業

産前の上産休暇は、法令で定められた週数よりも長い7 週の取得が可能である。

育児休業は、在職1 年以上であれば取得可能である。

また、産後パパ育休を取得しやすい環境整備に取り組んでいる。

(8) ライフイベントの相談

メンター制を導入して、先輩医師に相談することが出来る環境を整えている。

また、内容によっては臨床研修センターが窓口となり、担当部署と連携して対応している。

(9) ハラスメントの相談

人権侵害相談窓口を設置し対応できる環境を整備している。

(10) その他：

- ・健康管理については、年1回の定期健康診断と年1回の特殊健康診断を実施する。
- ・学会・研究会の参加については、研修診療科長の許可により参加を認め、年1回に限り交通費を支給する。
- ・入職時、医師賠償責任保険への加入が必須となる。
- ・アルバイトは禁止です。また、報酬の有無に関わらず医療機関や福祉施設などの理事職等に就くことはお控えください。

19. 採用試験について

(1) 基本プログラムならびに周産・成育プログラム

北里大学病院、北里研究所病院、北里大学メディカルセンター全てに希望順位が提出可能となる試験

- ① 試験日予定日……………2024年7月～8月
- ② 応募期間……………2024年6月～
- ③ 応募書類……………受験申込書、履歴書、健康診断書、成績証明書、卒業（見込）証明書、住民票、推薦状、志望動機と将来の希望、卒業試験結果または直近の模擬試験結果、共用試験（CBT）個人成績表

(2) 基礎研究医プログラム

- ① 試験予定日………2024年6月
- ② 応募期間………2024年5月
- ③ 応募書類……………受験申込書、履歴書、健康診断書、成績証明書、卒業（見込）証明書、住民票、推薦状、志望動機と将来の希望、卒業試験結果または直近の模擬試験結果、共用試験（CBT）個人成績表

○問合せ先

〒252-0375 神奈川県相模原市南区北里 1-15-1

電 話 042-778-7830

F A X 042-778-9371 (代表)

北里大学病院 臨床研修センター